



K 中 通 信

学校だより第8号
令和5年11月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

互いの良さが発揮できる仲間づくりを

校長 佐藤 由利

秋を通り越して一足飛びに冬の到来を感じるような日々が続いています。文化祭を終えてもうすぐ1か月近くになるうとは、時の経つのは本当に早いものだと思います。文化祭については、閉祭式でもお話したように、私はこの行事を通して、皆さんのもっているいろいろな力や可能性をたくさん感じ、それが何より嬉しいことでした。そう、皆さんには可能性がまだまだあります。これからも「あ、この子にはこんな力、こんな良さがあったんだな。」と気づく場面がたくさんあるだろうと、楽しみにしながら行事を終えることができました。そして忘れてはいけないのは、自分の良さを自分らしく発揮できるということは、クラス、学年、学校の仲間同士の信頼関係があってこそ、ということです。これからも、皆さんが安心して自分の力を発揮し、お互いを高めあえる軽井沢中であってほしいと願っています。

本日、評議会では、夏休み前からアンケート等を通して全校で考えてきた標準服の見直しについての話し合いが行われました。各クラスからの意見が持ち寄られ、保護者の皆さまからいただいたご意見も踏まえて検討した結果、原案がまとまり、明日の臨時生徒総会で生徒会本部より提案されることとなります。標準服の見直しということを引きかき、誰もが安心して生活できる学校を自分たちの手で作り上げていくという意識がより一層高まっていくことを期待しています。保護者、地域の皆さまには今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

3年生は卒業後の進路に向けて、いよいよ詰めの時期に入ります。現状を受け止め、目標を定め、それに向かって努力する。体調管理も含め、3月までは気の抜けない毎日が続くことでしょう。進路に関する状況も、課題も、悩みも人それぞれです。けれど、苦しいのは自分だけではありません。こういう時こそ、仲間の存在、クラスや学年の雰囲気は支えになります。授業も、先生の工夫だけでなく、受ける側の皆さんの意識ひとつで大きく変わってくるものです。近いところでは文化祭への取り組みになりますが、入学してから今までに積み重ね、学んできたさまざまなことを生かして、学年の先生方、仲間たちと共に支えあい、学年としても個人としてもさらに成長しながらこの受験期を乗り越えていってください。応援しています。